

## 事業計画書

事業名	沼津まちなかのにぎわい創出にかかる「あげつちコミュニティスペース（仮称）」の整備
場所	沼津市上土町 52 AIビル 3F 地内
実施予定期間	平成 29 年 7 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
日程	実施項目・作業項目
	<p>※ イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。</p> <p><b>本事業のコンセプト</b></p> <p>中小企業庁の選定する 2016 年度「はばたく商店街 30 選」に選出され、全国的にも注目の集まる「沼津あげつち商店街」のさらなる活性化を通じ、沼津まちなかのにぎわい創出を図るため、空店舗となっている当社ビルの 3 階を活用し、商店街店主が教えるプロの技術教室や、高齢者対象体操、子供向けパティシエ教室等魅力ある情報発信を行う多目的レンタルスペースを整備。積極的な広報活動を展開し、平日でも人でのにぎわう沼津中心市街地の活性化を実現する。</p> <p><b>日程</b></p> <p>平成 29 年 7 月 施工業者関係 設計・予算確定  平成 29 年 8 月 改修工事着工～完成  平成 29 年 8 月～ レンタルスペース事業募集・スケジュール作成  平成 29 年 9 月～ プロモーション活動開始  平成 29 年 12 月 「あげつち情報発信館（仮称）」オープン  オープニングプロモーションの開始  平成 30 年 1 月 通常稼働開始</p> <p><b>「あげつち情報発信館（仮称）」の施設概要</b></p> <p>アクセス : 沼津あげつち商店街の中心に立地  広さ : 50 m<sup>2</sup> 最大 24 名の収容可能  設備 : 多目的スペースとして活用できると同時に、キッチンを併設することで、食に関するイベントの開催についても活用できるものとする。</p> <p><b>施設の活用方法</b></p> <p>運用形態 : レンタルスペースとし、時間貸の形態で運営する。  貸出対象 : 通常のレンタルスペースとは違い、沼津あげつちを中心とした、沼津中心市街地活性化・地域住民交流の主旨に合致した目的のイベント・カルチャースクール等の開催を中心とする。</p> <p><b>【活用事例（案）】</b></p> <p>①地域の商店の店主による「プロから教わる〇〇教室」  例) 〇〇青果店に教わる野菜の選び方  〇〇包丁店に教わる包丁の研ぎ方  〇〇写真店に教わるインスタグラム写真の撮り方  美容室〇〇に教わるパパでも出来る髪の毛の結び方  〇〇歯科に教わる正しい歯の磨き方</p>

②当社の本職（洋菓子店）のノウハウを生かした教室・イベント  
例）子供向けパティシエ教室  
子供食堂・子供カフェの実施

③高齢者や地域住民のコミュニティスペース  
例）地元食材を使つての料理教室  
高齢者対象の体操やフィットネスができるスペース  
地元出身者の作品のギャラリー

等

#### 運営体制

会場設備・スケジュール管理については当社で実施する。建物自体が当社所有の物件であり、管理上は問題ないと考えている。

また、各種イベント開催にかかる時間貸収入以外にも、近隣の子供が集まる学習塾や英会話教室等へも曜日を決めてレンタルを実施し、事業継続の為の安定収益源の確保を図るとともに、「人が集まる場所」を提供することで、にぎわい創出の主旨に外れないようにする。

一方、商店街には各種イベントの立案・告知・集客等についての協力を依頼し、本スペースの積極的な活用がなされるように協力依頼を行うとともに、市・商工会とも連携を密にし、「広報ぬまづ」の活用等も積極的に実施する。

#### プロモーション活動の実施

会場管理がネット上で行えるホームページを開設。相互リンク等により知名度を拡大していくように、公的機関を中心に交渉を図る。

ホームページ上では、開催する各種イベントの募集も行えるようにし、「まちなかイベントが定期的で開催され、気軽に参加できる場所」として認知度を高める計画。

また、フリーペーパーへの掲載・チラシの作成・3階という立地条件の弱点をカバーすべく看板作製等も実施し、オープニングに際しては特に広告量を増やすことで、まずは一度イベントに体験していただくということをプロモートする。

#### 事業効果

※ 事業の効果を記載してください。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記してください。

初年度の目標値として、商店街関連イベント・教室の開催 36 件、400 人の集客を目標とする。広報ぬまづ・市のホームページや商店街による広報を行い、広く市民を中心に本事業についての告知を行い、認知度を高め、市街地活性化の中心基地としての位置づけを強化して行きます。

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

<p>公益性</p>	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載してください。          本事業の拠点は沼津市街地中心部に位置し、中心市街地活性化の目的には最適の立地条件となっている。前述の通り、通常のレンタルスペースとは違い、沼津あげつちを中心とした、沼津中心市街地活性化・地域住民交流の主旨に合致した目的のイベント・カルチャースクール等の開催を中心とすることで公共性は高い事業である。</p>
<p>発展性</p>	<p>※他の住民や地域との連携や、どのような波及効果が見込めるのか記載してください。          本事業にて整備した施設で開催するイベント・教室等は当該商店街や沼津の魅力を発信するものであり、この活動を通じて、中心市街地での消費活性化等の波及効果が望めると考えている。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載してください。          沼津市の中心市街地活性化は、地域の重要課題であり、本事業はその中心市街地にある店舗の魅力を、イベントや教室を通じて広く市民を中心に体験してもらうことで発信することにより問題解決を図るものである。</p>
<p>必要性</p>	<p>※事業を実施する意義や、財政的に支援を要する理由について記載してください。          各種イベントや若手や女性の積極的展開の成果が徐々に表れてきた当商店街の次の一手は、次の課題は「広く市民に当商店街の魅力を発信し、それを常時体験できる場を創出すること」と考えている。当社が保有する空き物件を有効利用するもので、初期投資が少なく済み、管理も容易である点が大きなメリットとして上げられ、本事業は当社が実施することが最適であると考えている。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載してください。          カルチャースクールやイベント等は各地で開催しているが、それを開催する箱を整備し、商店街の店主が主役となってそのイベントを運営して行くというスタイルは、効果的であり、新規性・独自性があるものと考えている。</p>
<p>継続性</p>	<p>※助成事業終了後に、どのように継続的・自立的な活動に取り組んでいくのかについて記載してください。          本事業でハード面を整備したあとは、いかにソフト面の充実を図るかが課題であると認識している。その点に関しては、当社独自で対策を講じるのではなく、あげつち商店街や近隣商店街等を巻き込み、さまざまな視点で沼津中心市街地の魅力が発信できる体制を構築することで、対応したいと考えている。</p>